

7月
23日

絢爛豪華な市江車

～尾張津島天王祭・朝祭～

織田信長も見たといわれる尾張津島天王祭が、4年ぶりに通常開催されました。朝祭では愛西市の市江車を先頭に、6つの車楽舟が天王川公園の丸池で絢爛豪華な姿を見せました。華やかに飾られた市江車から10人の鉾持ちが次々と池に飛び込み、一直線に御旅所を目指して泳ぐ姿は勇壮で、観客から大きな歓声と拍手がわき上起こっていました。

続いて、市江車が御旅所に到着すると、児は地面に足を付けないよう肩車され、神輿とともに津島神社へ向かいました。津島神社本殿に神輿が戻ると、市江車の児や関係者、奏楽団が拝殿に上がり、奏楽を奉納しました。



8月
5・6日

笑顔あふれる夏祭り ～納涼まつり・盆おどり大会～

東日本大震災被災地を視察して ～中学生体験学習事業～

各地区で、4年ぶりとなる納涼まつり・盆踊り大会が開催されました。各会場は多くの人でにぎわい、久しぶりとなるお祭りを家族や友人と楽しむ人の姿が見られました。

子ども達が披露する太鼓の音色に合わせて浴衣姿の人達が披露する盆踊りや、夜店で金魚すくいやかき氷を食べる人達の姿は涼しげで、夏の夜の暑さを忘れるひと時でした。

今年度より、市内6中学校の3年生を対象に修学旅行に代えて、東日本大震災被災地等を視察する中学生体験学習を5月から6月にかけて実施しました。宮城県石巻市では、各学校で実施している「アイリンプループロジェクト」について、その由来を知るとともに、震災や津波の恐ろしさ、命の大切さを間近で感じることができました。この経験を通じて、命や絆づくりの大切さ、災害に対する日頃の備えを未来へ繋げていきたいと思えます。

詳細は市ホームページでご確認ください。

